

特別支援学級 作業学習指導案

日 時 平成 15 年 10 月 3 日(金)5 校時
場 所 中学校 教室
学 級
指導者

1 単元名 伝統工芸 さき織りをしよう

2 単元について

(1) 生徒観

昨年二つの小学校から入学、三人でスタートした。なかよしキャンプや 交流遠足などでお互い知っていたものの、学級内でお互いに心を許し合って、伸び伸びと生活できるようになったのは 10 月の文化祭後からであった。

教室は他学級から離れており、学級に来てくれる友達も人もほとんどない。他の生徒とのかかわりは、交流授業の音楽・美術・保健体育・総合の時間、学年・学校行事・部活動で、他は三人の中だけの生活がほとんどである。他の生徒と接することが少なく、同級生とどのように接すればいいのかわからず、友達ができないと悩んでいる現状である。

そこで、交流学級の人たちやさまざまな人とかかわりを持たせ、社会性を身につけさせるために「さき織り」を取り上げ、作品作りの話し合いや教え合いを通して、校内外の人との対話能力を育て、社会性を広げるきっかけとしたい。

氏名	性 格・行 動 の 特 徴
A	明るく元気。生活面でのたくましさがあり、物事に関心・意欲があり積極的に行動する。作業能力は劣る面もあるが、努力し、作品を仕上げようとする。 友達は一人できたが、気心の知れた人となら話せる。学級ではおしゃべり。
B	二年になり力もつき、集中力がついてきた。今年のなかよしキャンプを通して、少し自分に自信をもてるようになってきた。話すことがとても苦手で、失敗を恐れて積極的に行動できないでいる。三人の中ではようやく話せるようになってきた。
C	明るく人懐っこい。上級生にかわいがられる。何でも張り切ってやりたがるが、長続きせず周囲をぼんやり見ていることが多い。声をかけ、そのつど指示を確かめながら学習している。 一方的なおしゃべりで対話が成り立たない。

(2) 教材観

さき織りは、古くから 各家庭で織り伝えられていた工芸で、織り機も各家庭に一台はあった。現在は機織りをできる人も少なくなり、伝承館で伝えられている程度である。布が大切だった時代は、古い布を新しい布に変え、コタツカバー、布団や、敷物等に作り変えていたものである。

さき織りには、

- ① 横糸の選び方で思いもかけない模様ができる。
- ② 自分で考えた模様のための糸選びをする。
- ③ 図案を作品にするため、横糸準備の計算を必要とする。
- ④ 作品を日常で使用できる喜びがある。
- ⑤ 作品を販売できたときの成就感を味わえる。

などの教育的効果が考えられる。また、この作業では、両手・両足を別々に動かし、体全体で織り上げる。手足のことを考えながら織ることで、集中して作業することが必要である。又、きれいに仕上げるためには、指の使い方や同じ事を繰り返し作業することが必要なので、飽きないで続ける忍耐力とあきらめずに取り組む姿勢が身につく。作品の日常化ができることや販売をすることで、喜びや成就感を味わえると思ひ、授業で取り組んでみることにした。

(3) 指導観

横糸の選び方から思いもよらない模様ができることから、自由に織って発見したり、横糸の色を工夫したりすることで、模様を考えさせるなどしながら意欲的に織らせたい。

また、毎時間の結果や反省を記録し、作業の進捗の発表や確認をしながら、話し合い活動の基本を身につけさせたい。そして、他者にはた織りを教えたり作品の販売をできるようにさせていきたい。このような活動を通して、話すことや対人とのかかわりを持ち、社会性を身につけさせるとともに、記録を基にしてお互いに競争したり、作品を仕上げる意欲づけにしたい。

3 指導目標

- (1) 横糸の使い方を工夫しながらさき織りになれることができる。
- (2) 作業記録をとりながら、教えあい・協力して意欲的に作品を作ることができる。
- (3) 作品の校内文化祭や福祉文化祭への発表などを通して社会性を持つことができる。
- (4) 安全に気をつけ作業することができる。

4 指導計画 [22時間扱い]

- (1) 作品作りの計画をしよう 1時間
- (2) 横糸を作ろう 3時間
- (3) さき織りをしよう 10時間 本時 (10/10)
- (4) 作品に仕上げよう 6時間
- (5) 作品を確かめ合おう 2時間

5 評価規準及び達成状況

[評価 できた○ 大体できた△ できない 空欄]

項目		氏名	A	B	C
社会性・態度	1	笑顔で元気な挨拶ができる	○	△	○
	2	話を聞くことができる	○	○	○
	3	指示の内容がわかる	○	○	
	4	指示されたときや名前を呼ばれたときなど返事ができる	○	△	○
	5	時間内集中して作業することができる	△	○	
	6	友達と協力し、教えあうことができる	○	○	
	7	わからない時やわからない事は、聞きなおすことができる	○	○	
	8	作業が終わったら報告できる			
	9	先生や友達の注意を素直に聞ける・受け入れることができる			
	10	教えてくれた人に感謝できる			
	11	相手により、正しい言葉遣いができる			
発表・話す	12	相手のほうを見て話すことができる	○	△	△
	13	大きい声で話すことができる	○	△	○
	14	自分の考えを持つことができる	○	△	
	15	人前で恥ずかしがらずに発表することができる			
	16	相手に内容がわかるように話すことができる			
	17	聞かれたことに答えることができる。			
知識・理解・判断	18	道具や機械の名前を知り、使うことができる	○	○	△
	19	材料や道具の準備・後片付けができる	○	○	△
	20	作業の方法を理解することができる	○	○	△
	21	材料を無駄なく使うことができる	○	○	△
	22	作業の指示を受けて友達に伝えることができる	○	○	
	23	安全に気を付けて作業をすることができる	○	○	
	24	作業手順を友達や先生に説明することができる			
	25	作品の良否がわかる			

	26	機械の故障や危険な状態を発見したら、連絡することができる	○		
技能・意欲	27	布の耳に、交互に1cm幅にはさみを入れることができる	○	○	△
	28	1cm幅に布をさくことができる	○	○	△
	29	糸の始末ができる	○	○	△
	30	さき織りができる	○	○	△
	31	さき織りの耳を同じに織ることができる	○	○	
	32	図案を考え必要な糸の色を準備できる			
	33	作品の大きさに合わせて採寸し、裁断できる			
	34	作品を作ることに興味を持ち、意欲的に取り組むことができる			
	35	ミシンの上糸、下糸の準備ができる			
	36	ミシンの針に糸を通すことができる			
	37	ミシンで直線縫いができる			

6 本時の指導 (14/22)

(1) 目標

- ① リズミカルに織ることができる。
- ② 作業終了を報告できる。
- ③ 織る手順を教えることができる。
- ④ わからないときは聞くことができる。

(2) 個人目標

生徒名	目 標
A	指示を受け作業し、終了報告ができる。丁寧に織ることができる。 元気な声で、さき織りしたい先生に呼びかけることができる。
B	指示を受け作業し、終了報告ができる。作品をイメージして、織ることができる。 はっきりしたことばで手順を説明できる。 はっきりしたことばで、さき織りしたい先生に呼びかけることができる。
C	指示を受け作業し、終了報告ができる。落ち着いてできる。集中して意欲的に取り組むことができる。 わからないときは、聞くことができる。織りの手がかりを見ながら、しっかり説明できる。 丁寧に作ろうとする。

(3) 展開

過程	学習活動	教師の指導・支援			
		生徒名	個別の支援	評価の観点	
導入 5分	1 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 日直の指示で元気に挨拶する。 			
	2 前時の学習確認 3 今日の学習確認	B, C	ことばをはっきり話すよう一声かける。	はっきり話すことができたか。	
		<ul style="list-style-type: none"> 自分の進度を発表する。 学習課題を大きな声で読む。 手順、方法の説明をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ◎ 織り方を教えて、みんなにも織ってもらおう。 ・ リズミカルに織ろう。 </div>			
		<ul style="list-style-type: none"> 大きな声でめあてを発表する。 呼びかけてさき織りをする先生を探し、自分の台のそばで見ってもらう 			
	4 めあての発表 5 呼びかける	全員	聞こえないとき、ことばがはっきりしないときは、もう一度言うように教える。	はっきりしたことばではなせたか。	
		A	すばやく行動できるように声かけをする	Bと同じく織りに入れたか。	
		B	落ち着いて行動できるように声かけをする。	図案通りにできたか。	
		C	あわてないで、リズミカルに織るように声かけをする。	自分のリズムで織れたかわからないときは聞いたか。	
	展開 35分	6 織る	<ul style="list-style-type: none"> 自分の台で、続きを織りながら説明をする。 終了報告をする。 10cm織ってもらう。 		
		7 先生に織ってもらう	A	自信を持って話せるように勇気づける。	はっきり話すことができたか
B					
C			手順とポイント表を見るように教える。	表を見ながら教えることができたか。	
8 後始末をする	<ul style="list-style-type: none"> 糸織りを6回し、台からはずす。 織った長さを測り記録する。 				
終末 10分	9 反省と感想発表	<ul style="list-style-type: none"> 記録をもとに反省、発表しあう。 さき織りをした先生から感想を話してもらう。 協力してくれた先生の名前を聞き、御礼を言う。 			
		AB	織り全体の反省をさせる 協力者に感謝の気持ちを持たせたい	自分の考えを発表できたか。 感謝のことばを言うことができたか	
		C	表を見ながら織り全体の反省をさせる。 協力者に感謝の気持ちを持たせたい	印を見て発表できたか。 感謝のことばを言うことができたか	
10	次時の予告と挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 作品にしよう 元気な挨拶 			

(4) 評価

- ① リズミカルに丁寧に織れたか
- ② 先生方に織り方の説明ができたか

小単元 時間	作品を仕上げよう 6	作品をチェックしよう 2	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ものさしや作図を使い採寸や裁断ができる 丁寧にミシンをかける 安全に気をつけて作業をする 	<ul style="list-style-type: none"> 良い所、直す所に気がつき発表することができる 友達に指摘された時素直に受け入れることができる 最後まで作品に仕上げることができる 	
導入	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ コースターとランチョンマットに採寸し裁断ができる ミシンで縫い作品に仕上げる 安全に気をつける 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ 良い作品に仕上げる 安全に気をつける 	
展開	<ol style="list-style-type: none"> コースターとランチョンマットに採寸し裁断する ミシンをかける <ul style="list-style-type: none"> 布にしっかりミシンをかけ、1廻りする 	<ol style="list-style-type: none"> 良い作品とはどんな作品か <ul style="list-style-type: none"> 織りがしっかりしているか 布の端をしっかり縫えているか 横糸よりはみだしたミシンかけになっていないか 作った作品を見直し話し合う 注意を受けた所をなおす 完成作品数を数えて記録する 	
終末	<ol style="list-style-type: none"> 記録をもとに反省をし合う 次時の予告 	<ol style="list-style-type: none"> 記録をもとに反省し合う <ul style="list-style-type: none"> 次時の予告 さき織りの反省をする 	
評価	<ol style="list-style-type: none"> ものさしや型紙を使い採寸し裁断することができたか 横糸の上を縫うことができたか 安全に気をつけて作業できたか 	<ol style="list-style-type: none"> 良い所や直す所に気がつき発表できたか 友達に指摘された時素直に受け入れることができたか 最後まで作品に仕上げる努力をしたか 安全に気をつけて作業できたか 	

7 単元の指導・評価計画 (22時間扱い)

小単元 時間	作品作りの計画 1	横糸を作ろう。 3	さき織りをしよう 10
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何を作るか考える。 ・ 自分の考えを話せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画に合わせて横糸を準備できる。 ・ 長さを測って反省などを記録する。 ・ 安全に気をつけて作業する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズミカルに丁寧に織る。 ・ 模様を工夫して織る。 ・ 友達や先生方に織り方を説明できる。
導入	<ol style="list-style-type: none"> 1 めあてをつかむ。 さき織りで作りたいものを決める。 用具や材料について話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 めあてをつかむ。 横糸を作る。 糸処理をきちんとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 めあてをつかむ。 丁寧に織る。 目標を持って織る。
展開	<ol style="list-style-type: none"> 2 自分で作りたいものを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 横糸はどのくらい必要か。 幅1cm・長さ210cm＝織り5cm 3 織る模様を考える (AB) 4 横糸について話し合う。 5 横糸の準備の方法について話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 2 横糸を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ わからないときは質問し、確かめる ・ さくことのできない布は、はさみで切る。 ・ さくことができない人は、はさみで切る。 ・ 糸の処理をする。 3 できた長さを測り記録する。 	<ol style="list-style-type: none"> 2 さき織りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 両手足をスムーズに動かし、丁寧に織る。 ・ 縦糸の間に横糸を通す。 ・ 足を踏み変えて箆で閉める。 以上を繰り返し、織り続けることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模様を考え横糸を取り替える。 ・ 聞いたり確かめ合いながら作業する ・ 目標を持って織ることができる。 ・ 教えあうことができる。 3 織った長さを測り記録する。
終末	<ol style="list-style-type: none"> 6 考えをまとめることができたか。 反省と次時の予告 	<ol style="list-style-type: none"> 4 記録をもとに反省を発表しあう。 次時予告 	<ol style="list-style-type: none"> 4 記録をもとに反省を発表しあう。 次時の予告
評価	<ol style="list-style-type: none"> 7 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを持つことができたか ・ 自分の考えを発表することができたか 	<ol style="list-style-type: none"> 5 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通りに横糸を準備できたか ・ はっきりしたことばで発表できたか ・ 安全に気をつけて作業できたか 	<ol style="list-style-type: none"> 5 <ul style="list-style-type: none"> ・ リズミカルに丁寧に織ることができたか ・ 横糸を工夫して織ることができたか ・ 友達や先生方に織り方を説明できたか

8 本時指導の観点と評価 [本時指導の視点 ◎ 評価 できた○ 大体できた△ できない×]

氏名 項目		A		B		C	
		視	評	視	評	視	評
社会性・態度	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7					◎	
	8	◎		◎		◎	
	9						
	10						
	11					◎	
発表・話す	12			◎		◎	
	13			◎			
	14			◎		◎	
	15	◎		◎		◎	
	16	◎		◎		◎	
	17	◎		◎		◎	
知識・理解・判断	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24	◎		◎		◎	
	25						
	26	◎		◎		◎	
技能・意欲	27						
	28						
	29						
	30	◎		◎		◎	
	31					◎	
	32	◎		◎			
	33						
	34						
	35						
	36						
	37						